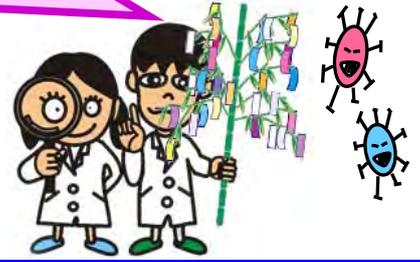


感染症に気をつけよう!

2017年【7月号】

横浜市内の感染症 流行状況



感染症	流行状況		説明
			【解説付き既刊号等】 ← クリック
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	 流行	 横ばい	6月に入り報告数の多い状態が続き、ピークを迎えているようです。まだ、注意が必要です。【'15.3号】
咽頭結膜熱 (プール熱)	 流行	 横ばい	例年、夏にピークがあります。保育園や学校での、集団発生も起こりやすいです。【チラシ】['17.6号]
手足口病	 散発	 増加	増加傾向です。子供を中心に流行し、例年7月下旬にピークがあります。今から注意しましょう。【'13.8号】
ヘルパンギーナ	 散発	 増加	6月上旬から増加傾向です。これからの季節、急激に増えることが予想されます。【'16.8号】

今、気をつけたい感染症 手足口病

■ ウイルスが原因で、口の中や、手足などに水ぶくれ様の発疹が出ます。■ 咳のしぶきや便等から感染し、保育園などでの集団感染もよく発生します。■ ほとんどは、数日間のうちに治ります。



■ 予防には、手洗いが大切です。■ 特に、おむつを替える時には、きちんと手を洗いましょう。■ 治った後も比較的長い間、便の中にウイルスが排泄されます。■ また、感染しても発病しないまま、ウイルスが便に排泄されていることがあるので、日頃からの正しい手洗いが重要です。

■ まれに髄膜炎(脳と脊髄を包む膜に炎症を起こす病気)など重い合併症もみられます。■ 経過観察をしっかりと行い…
 ✓ 高熱が出る ✓ 発熱が2日以上続く ✓ 嘔吐する ✓ 頭を痛がる ✓ 視線が合わない ✓ 呼びかけに答えない ✓ 呼吸が速くて息苦しそう ✓ 水分が取れずにおしっこがでない
 ✓ ぐったりとしている …などの症状がみられたら、すぐに受診してください。

